

長野県と中国河北省との 都市間連携協力の方向性

長野県



友好提携30周年事業

目 的

長野県と河北省との友好提携30周年に際し、知事を団長とする友好訪問団を中国に派遣し、張慶偉省長等と会見し、両県省の友好の絆を確認し、将来に向け新たな分野で具体的に相互にメリットのある形での交流拡大について意見交換。

内 容

〈時 期〉 平成25年10月27日(日)～10月29日(火)

〈団の構成〉 県、県日中友好協会 10名

〈行 程 等 〉 河北省(石家庄市)、北京市、上海市



河北省の考え方(環境分野)

- ◆大気及び環境保全分野の課題を解決したい。
- ◆工業化の進展で、環境分野での早急な取り組みが必要となっている。
- ◆日本は、環境分野で世界に貢献しているし、工業発展の規制や自動車排ガス規制も行ってきている。

○河北省が期待する交流の事例

- (1) 粉じん・霧など重度の大気汚染時の警報システム開発
- (2) 汚染地域のPM2.5の定量的な解析
- (3) 鉄鋼産業の脱硫、脱水銀技術の共同研究
- (4) 揮発性有機化合物コントロール技術の共同研究
- (5) 環境分野の企業の橋渡し
- (6) 専門家の研究機関への派遣研修



○現時点の状況

- (1) 河北省から交流内容等の回答待ち
- (2) 回答があり次第、河北省を訪問の上、調整予定
- (3) 専門家の研究機関への派遣研修等を想定



今後の交流の方向性

- ◆これまでの友好交流の基礎に立って、青少年、経済、観光に加え、環境、医療、スポーツの新たな分野においても、具体的な交流を進めていく。
- ◆環境分野として、河北省の専門家の研究機関への研修受入については、可能であると回答。
- ◆具体的な話はまだ進展していないが、環境省の「都市間連携の強化・支援事業」によるサポートの下、課題を解消しつつ、今後、河北省との都市間連携を進めていく。

